



スポーツの力、無限大

シティプロモーション推進課
☎ 65-1251

10月12日は「スポーツの日」です。

スポーツには、年齢や経験の違いを超えて、人と人をつなぐ力があります。また、競技をする人だけでなく、それを支える人や応援する人など、多くの人の関わりによって成り立っています。

今月はスポーツの日にちなみ、それぞれの立場でスポーツに関わる皆さんの思いや活動を紹介します。

日本チャンピオン、世界へ挑む

波片鉄平さん

北海道ニセコ町で開催された UCI Gran Fondo World Championships 2026 のロードレースに出場し、世界から集まった約 150 人の強豪と速さを競いました。

世界への初挑戦となった今大会は、今までで最も長い 140km のコース。特徴は中盤に現れる高低差約 850m の坂道で、40 分にわたり上り続けるタフさが求められました。レース序盤は後方に控え体力を温存したものの、坂道で力を発揮しきれず 14 位でフィニッシュ。「海外選手とのレースは貴重な経験でした」と大会を振り返ります。

波片さんが自転車始めたのは 2013 年。7 年後にはライセンスを取得し、市消防で働く傍らロードレースに出場するようになりました。昨年の全日本選手権ロードレースマスターズで日本一に輝き、今年は連覇を達成しています。

現在、日本自転車競技連盟が世界自転車競技選手権を 2035 年に国内で開催しようと誘致活動に取り組んでいます。その年は 60 歳になる年。大会が実現した際には、人生の節目での世界制覇を狙います。



全日本チャンピオンジャージを身にまとう波片さん



ゴールへ駆けける



長年の功績が認められた柿本さん

功労章に輝く、たゆまぬ挑戦 柿本正雄さん

50 年以上にわたり、空手の普及と指導に尽力。多くの子どもたちを育成してきました。今年 6 月、全日本空手道連盟の空手道功労章を受章。これまでの道のりを振り返り、「自分自身が勉強させてもらった。全部感謝ですね」と謙虚な姿勢を崩しません。

中学時代は柔道、高校ではサッカーに打ち込みました。体育教員を志し、天理大学体育学部に入學。当時大人気だったアクション俳優ブルース・リーに憧れ、空手道部の門をたたきました。4 年生で 3 段に合格。世界大会の日本学生代表に抜擢されるなど、めきめきと頭角を現しました。卒業後は愛媛に戻り、中学校の体育教員に。当時は少なかった空手道部を創設したり、新居浜で道場を開設したりと、空手に親しむ環境を整えてきました。

現在も週 2 回、小学生から 78 歳まで約 30 人の指導にあたります。自身も現役で競技を続けており、令和 6 年には賢友流空手道 7 段に合格。年 4 回ほど大阪の道場に遠征し、門弟たちと腕を磨いています。「強さよりも礼節、空手道の奥深さを極めたい。まだまだ修行中です」



角野の空手道場の皆さん

高校野球の原点 **あかがね野球教室**



硬式球の投げ方を指導する大井さん

中学3年生を対象に、部活動終了後も高校野球へつなげる力を育成する野球教室です。硬式球や市営野球場を使用した実践的な練習・試合を行い、マリノパーク新居浜での合宿や市外遠征、対外試合、とうしんカップ出場など幅広い経験を積みます。8月から12月まで活動し、今年で9回目を迎える市の委託事業です。

受講生



加藤直央さん
(泉川中)

高校でも野球を続けたいという思いから、硬式野球を学ぶために参加しました。硬式球は軟式球とは違う難しさがありますが、同級生同士で声を掛け合いながら活動に励んでいます。守備では、コーチから教わったステップの踏み方を実践しています。

指導者



大井裕喜さん
(元愛媛マンダリンパイレーツ選手)

子どもたち一人ひとりの個性を大切にし、長所を伸ばしながら課題克服をサポートしています。軟式から硬式への違いに戸惑わないよう指導し、まずは挨拶や礼儀を身につけ、応援される選手になってほしいと願っています。新居浜から甲子園、そして将来はプロ野球選手を輩出することが私たちの夢です。

仲間と夢へ挑む

新居浜東高校 健康スポーツ科



応急処置やテーピング技術を学ぶ授業

県内初の健康スポーツ科として、令和7年度に誕生しました。陸上競技や球技、スポーツ理論、チームワーク概論など専門的な授業を展開し、全授業時間の約3分の1を体育関連科目が占めています。競技力の向上だけでなく、仲間と協力しながら目標に向かう協調性や、スポーツを支える立場への理解を深めることも大切にしています。



さまざまな競技を体験でき、体育の授業や実習が充実していることが魅力。特に初めてヨットに乗ったマリノ実習が印象に残っています。(高橋絆愛さん1年)

ボールを投げて背中でキャッチする空間認知の授業を通して、素早い判断力と調整力が身につけてきました。(野間あかりさん1年)



運動部の生徒だけが同じクラスで学ぶことで、互いに刺激し合い切磋琢磨できる環境が生まれています。また、市内の施設を活用した野外実習や、新居浜南高校と連携したツガザクラ保存活動など地域と関わる学びにも力を入れています。(白石圭佑先生)



スポーツでつなぐ地域の笑顔

市スポーツ推進委員協議会

スポーツ推進委員は、地域の皆さんがスポーツに親しめるよう57人の委員が活動しています。

「市民歩け歩け大会」「市民体育祭ふれあいスポーツの部」「あかねマラソン」などの運営を支えるほか、救命講習や応急処置の研修を受け、安心・安全にスポーツを楽しめる環境づくりにも取り組んでいます。

これからも、子どもから高齢者まで誰もが気軽にスポーツを楽しみ、交流できる機会を広げながら、健康で元気な地域づくりを目指して活動していきます。



スポーツ推進委員の皆さん（市発祥「ちむに〜ぼ〜る」習得研修にて）

■大人の体力測定しませんか？

市民体育祭ふれあいスポーツの部と同時開催です。室内シューズ持参、動きやすい服装でお越しください。

実施項目

・握力測定・上体起こし・長座体前屈・反復横跳び・立ち幅跳び・20 mシャトルラン

日 10月4日(日) 9:00～11:20（最終受け付け）

場 市民体育館

対 20歳以上（R8.4.1時点の満年齢）

¥ 無料

申 事前申し込みまたは当日参加可

問 スポーツ振興課 ☎ 65-1303

インボディ測定や血管年齢測定、ベジチェックができる健康相談ブースもあります！

まちを元気に！みんなに笑顔を！

ウェルマン



Instagram



子どもたちにお菓子を配るウェルマン



惣開公民館の体験講座で子どもたちと交流

今年5月、新居浜を盛り上げるスーパーヒーローが「新居浜健康フェスティバル」で誕生しました。その名も「ウェルマン」。みんなに元気を届けるため、今日もまちを駆け巡っています。

「ウェルビーイング（心豊かに暮らすこと）」と「ウェルネス（心と体の健康づくり）」の大切さを伝えたいとの思いで活動しています。

ウェルマンのパワーの源は、みんなの元気と笑顔。敵を倒すのではなく、子どもから大人まで、みんなを笑顔にすることが使命です。頭には太陽、胸にはウェルマンの頭文字「W」のシンボルマークが輝き、必殺技「ウェルネスフラッシュ」でみんなに元気と笑顔を届けます。

夏休みには、惣開公民館の小学生向け体験講座にサプライズ登場。オリジナルの「ウェルネス盆踊り」を一緒に踊り、子どもたちと楽しい時間を過ごしました。

新居浜を元気にしたい、子どもたちの笑顔を増やしたい。そんな思いを胸に、ウェルマンはこれからも地域へ飛び出していきます。